

*****木材団地ニュース*****

あたらしま大地

2001.1
Vol.86

87号



大阪木材工場団地協同組合

Homepage Address <http://www.wood.co.jp/dream/>



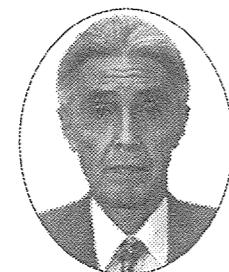
と調和の発信基地



青い木立（富山県平村）
津田洋甫写真集「ふゆいろ」より

年頭のご挨拶

年頭にあたって



大阪木材工場団地協同組合
理事長 松本 正剛

新年あけましておめでとうございます。

皆様方にはご家族おそろいで輝かしい21世紀幕開けの新春を迎えたことと拝し、心からお慶び申し上げます。

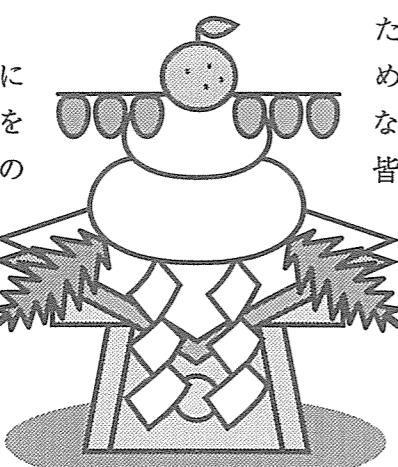
旧年中は大阪木材工場団地協同組合の運営に関し、皆様方に格別のご指導ご協力を賜わり誠に有り難うございました。

お陰様をもちまして当協同組合も、20世紀から21世紀へと無事年越しすることができました。厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は千年に一度のミレニアムということで特別の思いをもって迎えましたが、その期待もむなしく“政治・経済・社会”全ての面で世纪末を思わせるもので終わりました。

政治の世界では小渕前首相の急死による密室の中に於ける森政権の誕生を契機として、政局の混乱による国会の茶番劇は国民の政治不信を増幅せしめる一方、経済に於いても雪印乳業・三菱自動車の不良品問題を始めJR及び私鉄各社の運賃の誤掲示とその企業モラルの喪失を感じさせ、又有珠山・三宅島の噴火、東海地方の集中豪雨、鳥取西部大地震と天変地異の年でございました。

唯その中で当協同組合は公平・信頼・協調・創造・



とさせて頂きます。

目次

年頭のご挨拶 年頭にあたって ······	1	女性スタッフ紹介 ······	9
例話について ······	2	味の散歩 ······	9
みんなのひろば ······	3	パズル ······	10
新春特集 ······	4~6	編集後記 ······	10
お知らせコーナー ······	7~8	自然環境シリーズ ······	11

第十二回 例話について 服 装

村の金持ちが、ぼろを着て町を歩いているのを見て、友人がたしなめた。

「なんで、そんな格好で歩き回るんだ。みっともないではないか」

「なあに、ここじゃあおれを知っている者は一人もいないからね」と金持ちは言った。

その次の日、その友人は村で、やはりぼろを着て歩いている金持ちに出会った。

「なんだ、君は村でもそんな格好をしているのか」

「ここじゃ誰だって、おれのことを知っているからね」と金持ちは言った。

(ユダヤ笑話集より)

○ 人が服装に気を使い、高価そうな服装を誇示したがるのは、身分が高いらしい、あるいは金持ちらしいと見られたいからである。

そしてそれは仲間や周囲の人間からそう見られたいのであって、それならまったく知人のいない、よその土地ではどんな服装をしていても差し支えないのではないか、と言う事になる。

他方、まわりの皆が自分が金持ちであることを知っている自分の村や町では、これまたどんな格好をしていても貧乏人だと思われる心配はない。

この論理からすると、金持ちはどこへ行っても粗末なものを着ていていっこうに差し支えない、という結論になる。

○ もちろん、この論理は一面的なもので、逆もまた一面の真理である。

つまり金持ちはどこへいっても金持ちらしい服装をしていて、初めて尊敬され、ふさわしい対応を受けることが出来る。

人は外見を重視するからである。

自分の村や町にいる時でも、あまりみすぼらしい服装では、ケチだと思われ、軽蔑を招きかねない。

○ 人はその中身を出来るだけよく見せるため、あるいは自分の正体を明らかにするために服装をととのえる、というのが原則である。

たとえばヤクザ、暴力団員は一見してそれらしい服装や、ヘアスタイルをし、険悪な表情をして肩をゆすって歩く。

もっと普通にしていれば目立たなくてよいのにと思うのは間違いで、この種の人たちは何よりも恐ろしげに見えることで、その商売が成り立つだから、いかにも暴力団風に見えなければならないのである。

以上

クボタ精機(株) 小沢敏明

警備体制は万全ですか？

東洋テックは大阪木材工場団地内で多数の企業様に「TECアラートシステム」による安全で確実な警備を提供しています。

お問い合わせは……

東洋テック鶴堺支店 TEL 0722-21-0753まで

Daiohs
COFFEE SERVICE
OCS 堺
TEL 0722-57-2023

使い方カンタンなコーヒー
メーカーを始め必要な備品は
すべて無料で。あとは4週間
に1度、フレッシュなレギュ
ラーコーヒーをお届けします。

みんなのひろば

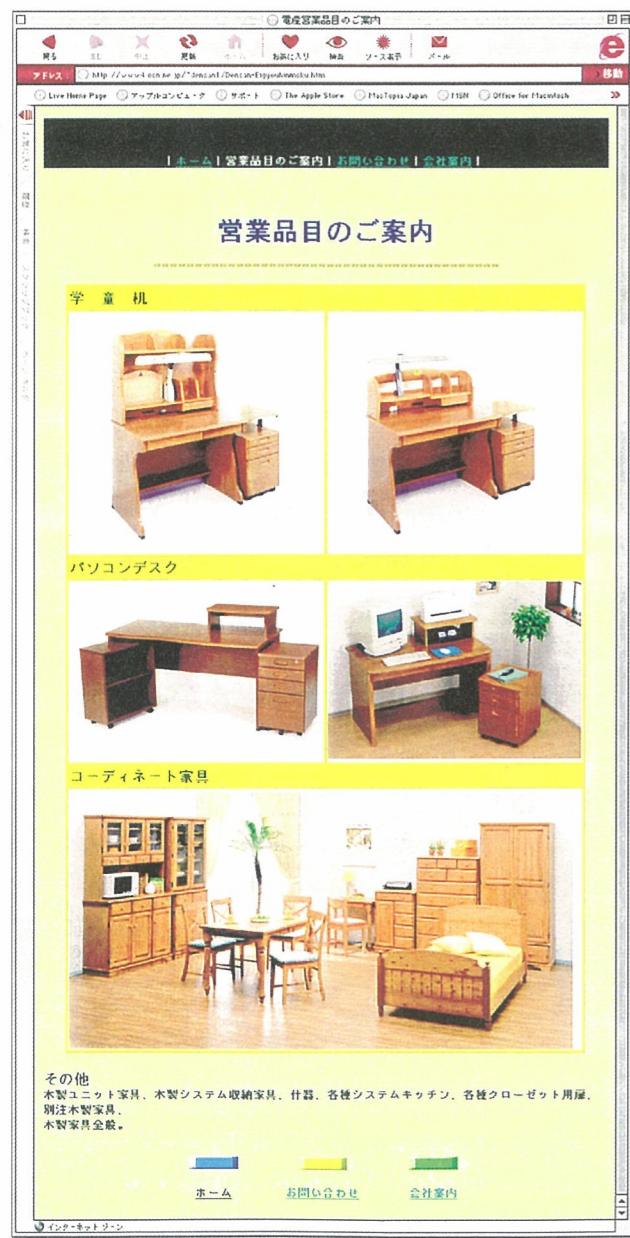
株式会社 電 産

春の入学を、期待に胸をふくらませワクワクして待っている子供たちの学習机を製造している当社は、ホームページに製品の写真を掲載しております。『どんな机があるのかなあ』とお子様から親御様までと幅広くお気軽に見ていただけるようになっています。

また、作っている商品の説明や会社の説明なども記載しております。

現在は学習机やパソコンデスクなどの製造を行なっていますが、今後は消費者の皆様のニーズにあったオリジナル製品の開発にも取り組んでいきたいと思っています。

ぜひ一度当社のホームページをご覧になって下さい。



ホームページアドレス
<http://www4.ocn.ne.jp/~densan1/index.html>

新春特集 21世紀は環境保全の時代

新年おめでとうございます。

いよいよ21世紀、あたらしい百年を迎える関頭に立つにあたり、これを展望する意味で、当編集企画委員会では、日頃環境問題にも取り組んでおられます大阪府立農林技術センター環境部みどり技術室 伊藤孝美室長を訪ね、大阪府の自然環境について、歓談の形で色々と話をきいた。

歓談者は伊藤室長、橋本当委員会担当副理事長、田中委員長、西田委員(敬称略)。

橋 本 大阪府における自然環境への取り組みについて、最近の研究と成果というあたりより、お話ください。



伊 藤 自然環境がらみでは色々な研究をやらせて頂いているのですが、奥が深く自然が相手ということで長い時間もかかり難しいこともあります。

そのため、研究にしても途上にあるということです。

そのひとつには二酸化炭素の固定、森林が、二酸化炭素をどのくらい固定するかということに現在取り組んでいます。

森林が炭酸ガスをどれだけ吸っているかを調べるために、まず森林のバイオ・マスがどれくらいあるのかというのを調べなくてはならないわけで、現在それをやっているわけです。

橋 本 バイオ・マスとはどういうことですか？

伊 藤 森林の生物の量なんです。それが現在どれくらいあるのか？そして、ある時間をおいてそれがどのような量に変化したのか？たとえば、5年間おいてそれ(生物量)を調べたとき、そこから5年前の生物量を差し引きますと5年間の生物量ができるわけです。

その成長量っていうのが実は炭酸ガスを5年間吸った量になるわけです。

橋 本 木材だけで言うと、日本における大体の固定量は掴めているのですか？

伊 藤 場所により成長量が違いますが、十把ひとからげでみた森林や農地の炭酸ガス吸収量は計算例があります。

西 田 二酸化炭素固定ということでは、最近の話題のケナフはどうですか？

橋 本 ケナフは1年で枯れるので、固定としては大した固定にはならないのでしょうか？

伊 藤 年間成長量が大きいので吸収量は大きいのですが、1年で枯れますのでプラスマイナス0ということになります。



地球上で最もバイオ・マスの大きいボルネオの熱帯雨林でも、地球の肺といわれますが、成熟した森林なので見かけ上プラスマイナス0になります。

生きた樹木だけでなく伐採された木材も、法隆寺の西岡常一棟梁が『千年の檜は、伐採後も千年の生命を保つ』と言われたように、つまり炭酸ガスを千年固定するということです。

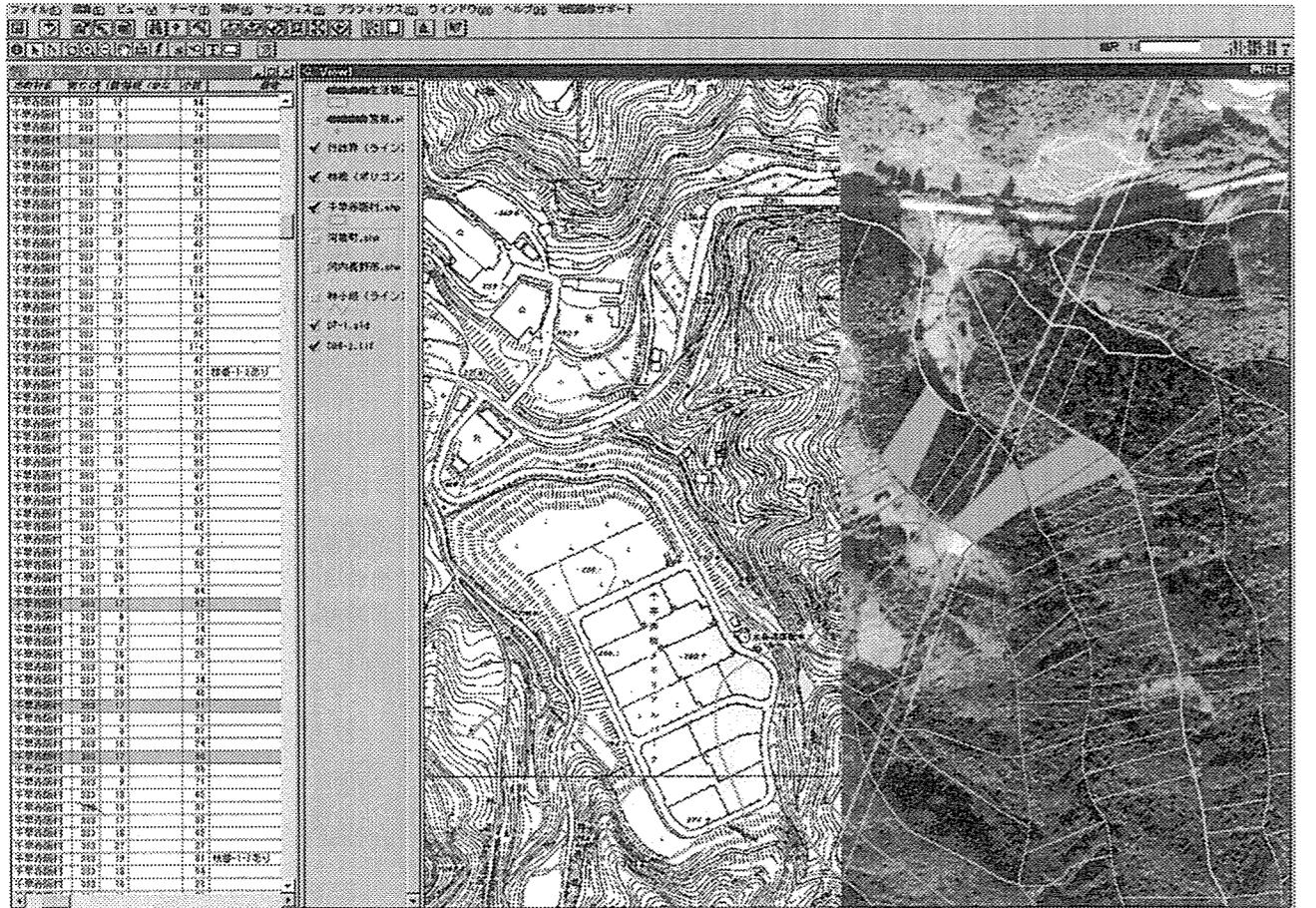
そうしたことも計算に入れるべきです。
現在調査しているのは、府内の指定された場所の森林のバイオ・マスを調べています。

西 田 GISということですか……

伊 藤 GISとは地理情報システム(Geographic Information System)の意味で、地図(ポリゴン(多角形)の上で、そこがどんな森林などの情報を入力しているところです。

緒についたばかりですが、どれだけ属性データ(現地データーなど)が集められるか……ですね。

橋 本 自然環境といえば、鹿の問題もありますね。どちらかといえば日本鹿が地域で生殖してしまい、ある程度人為的な干渉をしてしま



い、鹿の生息空間を狭めてしまった結果です。

伊 藤 森林を皆伐して苗木を植林すると一時的に草原ができる、そこは鹿の餌場となり数を増やすことになります。

数が増えると、結局、餌不足となり初夏になって稻や畑を荒らす。

被害は大きいものがあります。

西 田 くい止めるには？

伊 藤 鹿の淘汰。これしかありません。

しかしこれは乱暴な話で、実際には鹿の保護と被害を無くすることとの調整をめざしています。

橋 本 相互関係の折り合いをつけるんですか？

伊 藤 鹿がどれだけいるのか、被害もどの程度あるかを指数化して、どの程度まで数を減らすか、一方では防護柵など被害防除に取り組むためにも、能勢町などで鹿の調査を進めてきています。

西 田 鹿は増えているんですか？

伊 藤 傾向としては増えていると思います。数字はわかりません、推定でも数字を出すと数字がひとり歩きするので怖いですね。鹿の問題でもうひとつの基本は鹿個体群の解

析です。

年齢構成はピラミッド状をしているのが理想ですね。

年齢は下顎の門歯でわかりますが、そのため、北摂の方で交通事故死などの鹿を頂きまして体の大きさ、歯、血液、妊娠状況、胃の内容物なども調べています。

橋 本 鹿は何年ぐらい生きられるのですか？

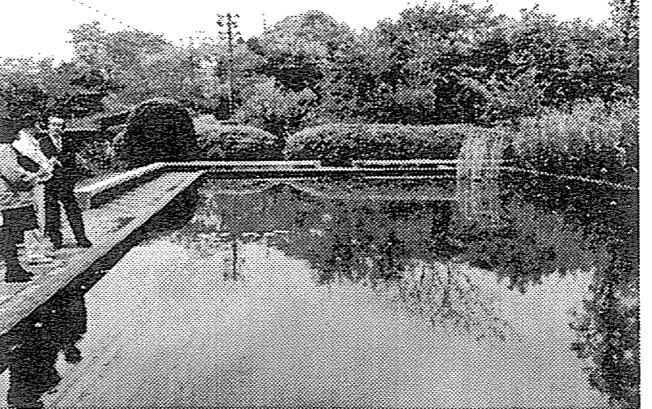
伊 藤 そうですね。14歳ぐらいです。

橋 本 わりと若いですね。

西 田 農林技術センターというから農林のことだけと思っていたら動物のこともやっているんですね。

伊 藤 畜産部（現在食品資源部）もあります。鹿の調査は共同でやっています。職員は100人ほどいるんですが、ほとんどは農業・畜産・果実・園芸関係ですが、元の林業といわれるメンバーはここ4人だけです。4人で森林、林業に関わる病害虫害、林産物、森林の環境・土壤・緑化関係を行っています。

橋 本 先日も農林技術センターのトンボ池をあたらしき大地という広報誌に載せたのですが、大阪木材工場団地（協）の新会館の裏に芝生がある



ので、そこに池を作りたいと私たちは思っているんですが、中々協同組合なもので、皆さんコンセンサスがいるので、またこれがチョット時間がかかるんですが。…

橋 本 トンボは勝手に飛んできて卵を産むんでか？

伊 藤 そうです。アカネ類はかなり遠くからとんできます。ただとんでくるだけです。シオカラトンボもどこからともなく飛んできて卵を産みます。

西 田 以前に朝日放送で、農林技術センターの方で、水の浄化の植物の話をされていたのですが、こちらでその研究をされていませんか？

伊 藤 ケナフとかホティアオイとかパビルスなどがあります。

西 田 池を作るにあたってどんな木を植えたらいいですか？

伊 藤 木の種類よりか、基本的には水が大切です。ビオトープでは池というのがひとつの中のポイントで水はそこそこきれいであれば、その水が動いていれば良いです。

西 田 濾過までしなくていいということですね。

伊 藤 池は日当たりが良いことが大事で、そのため



にも低木を植えることが基本です。それだけでなく草花も大切です。花が咲けば蝶々も飛んでくるし、水があればトンボもいくらでも飛んできます。要するに、その環境にあった植物の組み合わせをその場所でいかに定着させができるか？そうすれば、それらに頼る昆虫が来るということです。

如何に自然に近い環境をつくるかが大切になります。

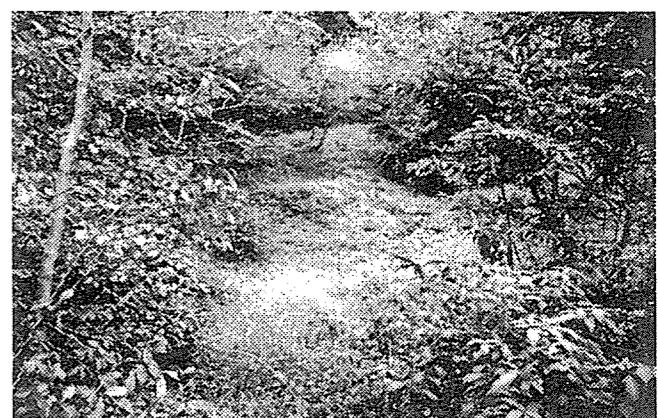
西 田 人工的に作りすぎると間違ってしまうということですね。

橋 本 水道水を入れると悪影響がありますか？

伊 藤 それほど悪影響はないと思いますよ。

西 田 この農林技術センターの中に、ホタルがいるのですか？

伊 藤 ホタルは、いますよ。ただ数が少なくなっていますが、ハイケボタルが、いますよ



橋 本 “ぶな林”はどこになるのですか？

伊 藤 “ぶな林”は和泉葛城山ですね。

国の天然記念物になっています。

しかしモトクロスで林内の自然の水路（みずみち）が壊され雨水がぶな林全体に行かないで困りました。（注 現在は立入禁止になっています。）

それに和歌山側から暖かい乾燥した風の吹込み、ぶな林沿いの林道など衰退の要因がいくつかありました。

今後も和泉葛城山ブナ林保護増殖検討委員会のなかで、ぶな林の保護を考えていきたい。

この他、金剛山のぶな林・府の天然記念物である妙見山のぶな林もどういったかたちで保護していくかを考えていきたい。

橋 本 本日は本当にありがとうございました。これからも頑張ってください。

お知らせコーナー

組合からの報告 事務局

飛翔会が通常総会を開催

飛翔会（現在会員数21名）では、去る11月22日午後6時より、組合会館で第8回通常総会を開催。

総会において、新会長に堀川 昇氏【日新シール工業（株）】が選任され、会の一層の充実と、21世紀への「飛翔」を誓いあった。

全員例会の実施

本年度の「組合全員例会」は、11月12日（日）・13日（月）の両日、33社の組合員参加を得て三重県伊勢鳥羽方面で開催された。

例会では、組合の上半期事業の業務報告等が行われ、両日昼間は、観光組とゴルフ組に分かれ、晩秋の伊勢路の旅とゴルフを楽しんだ。

受賞のご案内

11月9日付

大阪府商工関係者知事表彰
成瀬 孝氏

みどりハウジング（株）代表取締役社長

11月28日付

木材産業従事功労者 大阪府知事感謝状
田中義輝氏

大阪木材工場団地（協）事務局課長
同 大阪市長表彰
山本信彰氏

（株）マルコマ 取締役
同（社）大阪府木材連合会会長表彰
岡田淑子氏

（株）マルコマ

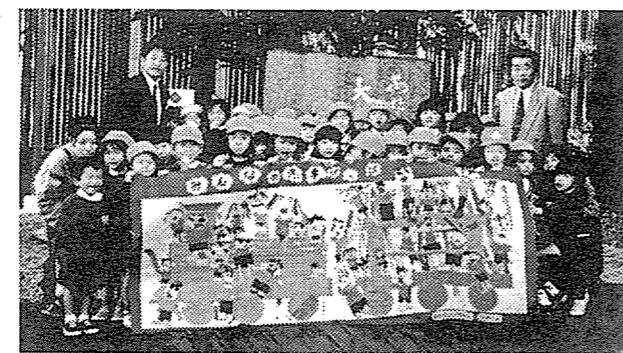
木材団地まつりの開催

第16回木材団地まつり（ウッドフェア）は、開催2日間とも雨天となり、来場者数（18,350人）・売上高（38,000千円）とも前年度実績を下回ったが、「木材普及・PR」等の過去の実績が認められ、本年度より林野庁の「木材利用促進事業」の対象となったほか、美原町の「地場産業振興事業」の対象となり、それぞれ補助金交付の適用を受けた。

会場では、「お祭り広場」で行われた、ガーデニング教室・パターゴルフ大会・輪投げ大会・フリースローゲーム・記念モニュメント（完成作品の木製汽車は、美原

町立みはら大地幼稚園に寄贈）の展示、また、小ホールで実施した木工教室・木工クラフト展・木材知識のワンポイントコーナー・端材の無料提供コーナーの開設も人気を集め、イベント面の充実が際立った催しであった。

なお、「みはら大地幼稚園」の園児たちが、後日寄贈品“汽車ポッポ”の絵を書いて協同組合を訪れ、『黄色いお札』の言葉をいただいた。



組合からの報告 ウッドリーム

ガイアシンフォニー第3番上映会開催

ウッドリーム11月事業として、11月8日（水）「地球の声が聞こえますか。」という呼びかけで始まる龍村 仁監督のドキュメンタリー映画『地球交響曲（ガイアシンフォニー）第3番』の上映会が行なわれ、52名が参加した。



手作り講習会開催

ウッドリーム12月事業として手作りサークル“森のくまさん”を講師に招き、手作り講習会「お正月飾り」が12月16日（土）に行われ、38名が参加した。

組合からの報告 美原団地協議会

富田林税務署長感謝状拝受

昨年11月に「@完納宣言の街」宣言式を実施し、消費税ほかあらゆる税の期限内納付の推進に大きく貢献した功績に対し、去る11月7日に行なわれた「平成12

お知らせコーナー

行き先：富山県・牛岳温泉スキー場
定員：80名

組合からの情報 事務局

協同組合年間スケジュール概要

☆新年互礼会	平成13年	1月16日
☆集団胃ガン検診	〃	3月14日・15日
☆通常総会	〃	5月28日
☆木材団地まつり	〃	10月27日・28日
☆全員例会	〃	11月10日・11日

「新年互礼会」開催のご案内

当協同組合主催の新春を祝う「新年互礼会」は、下記概要で行なわれます。

とき：平成13年1月16日（火）午後3時から
ところ：組合会館 2階 大会議室
スケジュール

新春講演会 15:00～16:40

テーマ「「もの」しか売らない企業は消えていく！」

講師（株）日経システムズ
代表取締役 山崎修一氏

互礼会 17:00～17:30

祝賀会 17:30～19:00

● 林災協ニュースより ●

◆ トラック運送の交通労働災害防止について

本年10月末日現在で大阪労働局の交通労働災害による死亡災害が全事業場で25人となり、平成11年同時期に比べて6人、32%増加となっています。

そして交通災害でもトラック運送による労働災害は50%近い高率となっています。

交通労働災害の防止を目的として安全衛生管理体制の確立、労働時間管理、過積載防止等、荷の適性な積載を含む走行管理、並びに交通労働災害防止に対する意識の高揚等積極的な推進を図るよう「交通労働災害防止のためのガイドライン」が定められ、その周知徹底が図られているところでありますが、交通労働死亡災害の多くは発生時間が深夜時間帯であること、事故の型が運転中の追突及び激突であることから、深夜運行、到着時刻の指定、天候等労働環境や労働条件からもたらされる疲労や睡眠不足などが発生原因の一つとなっていると考えられております。

大阪労働局としてこのような現状を踏まえ事業者としてトラック運送の交通災害防止の推進とともに、無理な発注条件の提示がないよう格段のご協力をお願いするよう指導がありましたので、お知らせとお願いを申し上げます。

※詳細については下記にお尋ねください。

〒550-0013 大阪市西区新町3-6-9（大阪木材会館305号室）

林材業労災防止協会大阪府支部 TEL/FAX 06-6541-1472

オクヒラ車検
安い！早い！安心！
株式会社 オクヒラ
木材団地前店 TEL0723-62-5063

土木工事・建築工事一式
産廃中間処理、駐車場、トラックスケール
団地内企業で迅速な対応
〒583-0042 美原町木材通4丁目16番1号
TEL 0723-62-2221
(有)松川組

職人技で磨き上げた納得の老舗
本物志向の味は秀作・お茶は心のふる里
21世紀は安心と
余裕を創り出す日本茶
心をこめてお届け致します。
静岡銘茶 小山園 藤井寺営業所
〒583-0012 藤井寺市道明寺1-9-31
TEL/FAX0729-55-4920
0120-37-3268

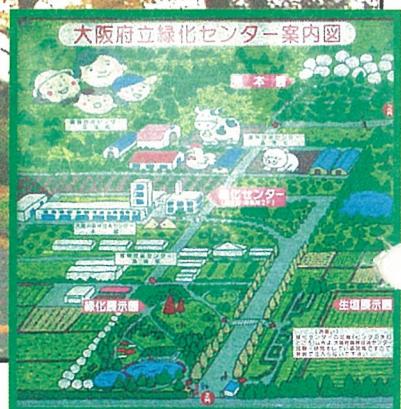
看板・ネオン・塗装工事
立体廣告
美原町黒山。0723-61-3360

農林技術センターでは

自然環境の保全や緑化の研究をしています。

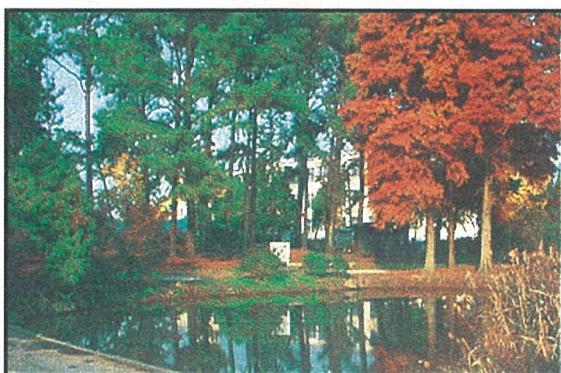


正面通路の素晴らしい紅葉の街路樹



11月16日新春対談の取材で農林技術センターの環境部みどり技術室長伊藤様を訪問しました。当日伊藤様には広い農林技術センター内を案内して戴き、自然環境に関する貴重なお話を聞きました。農林技術センターは昭和38年に設立された大阪府の研究機関です。野菜・果物・水稻・花き・畜産・材木などを対象にした生産性の高い都市農業の育成、新鮮で安全な高品質農畜産物の安定供給や自然環境の保全と緑化などの研究を行っています。研究開発された成果は農業者や府民の方々に提供されています。皆様も農林技術センターを訪問して素晴らしい自然環境に触れて下さい。

所在地 羽曳野市尺度442番地 外環状線農林センター交差点からすぐ



メダカの生息する自然池



ビオトープゾーン

この池は農林技術センター内の丘陵から地下水と雨水が流れできた自然池です。この池には貴重なクロメダカが生息しています。自然環境の素晴らしい証明の一つです。

伊藤様が管理しているビオトープゾーンです。ビオトープとはドイツ語の Bio (生き物) と Top (場所) の合成語で生き物の生息空間を意味します。



この自然環境シリーズは皆様からの自然環境に関する情報を中心に掲載します。大阪木材工場団地内や皆様の街にある自然環境情報をお知らせ下さい。

連絡先 事務局 一柳 FAX0723-61-0629